

Tokyo Hematology Seminar

-Chronic Myeloid Leukemia-



日時：2015年11月30日（月）19：30～21：10

場所：京王プラザホテル 43階「スターライト」

新宿区西新宿2-2-1 03-3344-0111

PROGRAM

Openig Remarks 19:30～19:35

「CML治療の現状」 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 血液内科 谷口 修一 先生

症例検討 19:35～20:15

座長：国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 小林 幸夫 先生

『Imatinib治療継続中にMMRを喪失しNilotinibを低用量で開始した一例』
がん研究会有明病院 血液腫瘍科 上田 響子 先生

『Nilotinib使用下における血栓症のリスクマネジメント（仮）』
順天堂大学医学部 内科学血液学講座 高久 智生 先生

『TKIの選択に苦慮した多彩な合併症を持つ高齢者慢性期慢性骨髄性白血病の一例』
東京女子医科大学 血液内科 志関 雅幸 先生

『TKI Stop後に再発した2例』
がん・感染症センター都立駒込病院 血液内科 大橋 一輝 先生

特別講演 20:15～21:05

座長：東京女子医科大学 血液内科学講座 田中 淳司 先生

「CML 最新の話（仮）」

演者：東京医科大学 血液内科学分野 准教授 田内 哲三 先生

Closing Remarks 21:05～21:10

「CML治療の今後の展望」 東京大学医科学研究所 分子療法分野 東條 有伸 先生